

牛群検定の利活用などについて、解説記事を掲載しています。

1 全酪新報 12月1日号 全国酪農協会
牛群検定ワンポイントレッスンその66 冬季の分娩・哺育に備えて
寒さに弱い子牛の管理のポイントを検定成績から解説

2 LIAJニュース11月号 (一社)家畜改良事業団
新しい牛群検定成績表について(その57)生涯一日乳量
生涯一日乳量を飼養管理に活かすためには? [検定成績表見方](#) [検索](#)

牛群検定の濃密研修会および優秀検定員表彰式を行います。

今年度は以下の通り行います。検定農家をはじめ検定関係者であれば、どなたでも参加できます。
どうぞ奮ってご参加下さい。問い合わせ先 toiawase@liaj.or.jp

濃密研修会 搾乳ロボットと牛群検定について(仮題)
講師 広島大学大学院生物圏科学研究科家畜飼養学 小櫃 剛人 教授様

優秀検定員表彰式 各地区から推薦された勤続5年以上で、農家の信頼の高い優秀な検定員の方々を表彰します。

日 時 と 場 所 平成31年2月14日午後 栃木県宇都宮市大通り ホテルニューイタヤ
平成31年2月20日午後 福岡県福岡市博多区 八百治博多ホテル

※両会場とも翌日に牛群検定推進ブロック会議を行います。詳細は追ってお知らせします。

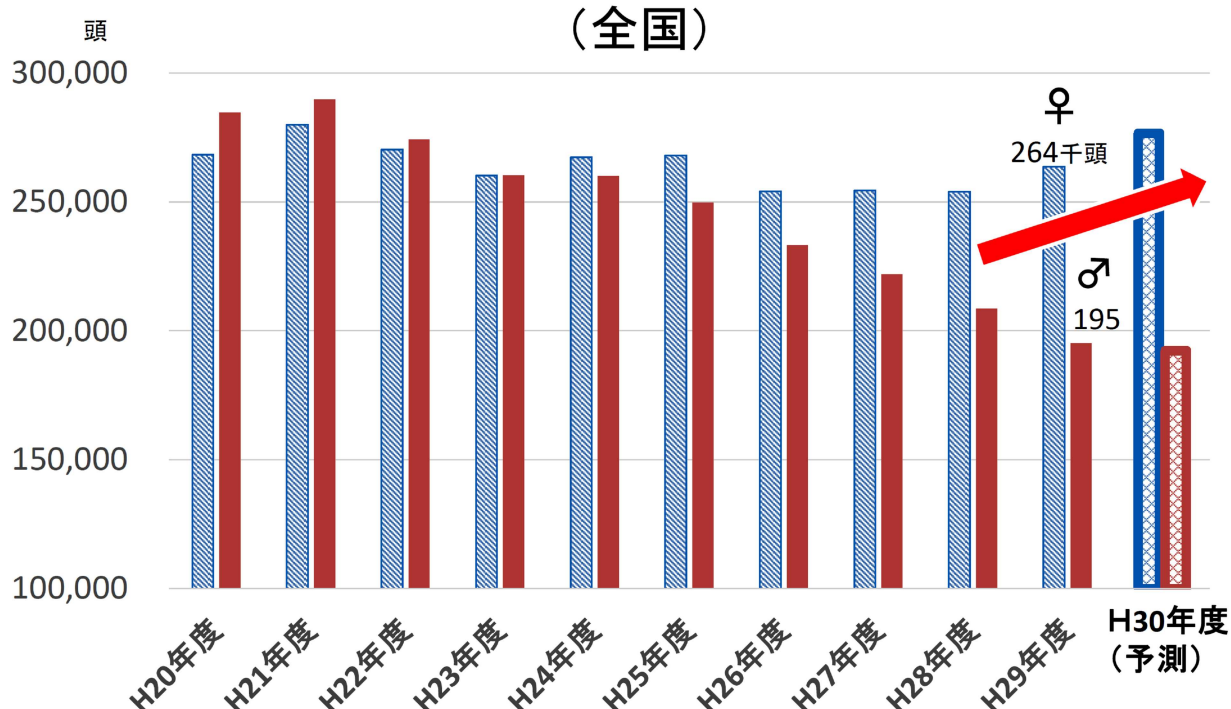
乳用メス子牛の生産が増頭傾向に！

10月末日に(独)家畜改良センターから平成29年度の乳用種の出生頭数の届出情報(個体識別)が公表されました。右図は公表された値を組み替えたものです。また、平成30年については、乳用牛群検定全国協議会独自に開発した予測システムによるものです。

メス子牛が5年ぶりに増頭の傾向に転じました。その後も増頭傾向が継続すると予測されてます。これは性選別精液の使用頻度が増えていることが原因と考えられ、オス子牛の減少傾向は8年間連続となります。

今後の詳しい予測情報は、乳用牛群検定全国協議会のホームページを参照下さい。

最近の乳用種子牛の出生動向および予測(全国)



(出典)乳用牛群検定全国協議会HP <http://liaj.or.jp/kyogikai/>
乳用子牛生産情報 子牛の生産予測情報

牛群検定！点検シート（その9 搾乳機器のチェック）

お手許の検定成績を使いながら牛群管理の点検を行います。極簡単なものなので、これを機会に検定員といっしょに確認を行いましょう！今回は搾乳機器の調子が悪くないかチェックします。このチェックで問題なしとなっても、定期的な点検を励行しましょう！

農家コード 氏名

- 検定成績表を参考にチェックしましょう！
 - ①成績表の体細胞数が通年的に高くないですか？（図1）
Yes No
→Yes 体細胞数は一般的に夏季に高く、冬季に低い傾向がありますが、搾乳のやり方や機器等に問題があると通年的に高い場合があります。
 - ②最近、乳量が減少していませんか？（図2）
Yes No
→Yes 搾乳機の真空圧が低かったり、パルセータの調子が悪いと乳量が減るばかりか、乳房炎の原因となります。
 - ③最近、妙に搾乳に長時間がかかっていませんか？（図3）
Yes No
→Yes 搾乳機の真空圧等が下がっていると、搾乳に時間を要すようになります。
- Yesの対象となった場合は、搾乳機を再チェックしましょう。改善しないときは専門業者にメンテナンスを依頼して下さい。
- ④ヒビ等の入ったライナーのまま搾乳していませんか？ゴムの劣化は乳房炎の原因となります。
Yes No
→Yes 一般的にライナーゴムは3カ月または1500回で交換と言われています。製品にもよりますが、定期的な交換をお願いします。
 - ⑤ライナースリップを起こしていませんか？また、1台ライナースリップが発生すると次々と伝播しませんか？
Yes No
→Yes 全体の真空圧が低く、ギリギリで搾っているとライナースリップが伝播する場合があります。
 - ⑥真空ポンプから変な音や臭いがしたり、真空圧計の針が揺れ動いたりしていませんか？
Yes No
→Yes 早急に専門業者に連絡して下さい。オイル切れや清掃不足などは、機器の正常動作に影響します。

(図1) 検定成績表の1枚目中央に表示
通年的に体細胞数の高い農家の例

移動 13カ月 成績	体細胞情報									
	体細胞数 平均	搾乳牛頭数比率			千/ml		新規		頭数	
		70 以下	71~ 282	283 以上	新規	頭数	新規	頭数	損失 乳代 (月当り)	損失 乳代 (月当り)
検定年月日										
29.11.28	322 (3.3)	36	39	25	3	2	2	2	115	
29.12.26	323 (3.2)	38	42	20	3	2	2	2	115	
30.01.23	230 (3.1)	38	43	20	3	2	2	2	108	
30.02.27	309 (3.4)	38	38	24	9	5	2	121		
30.03.27	329 (3.6)	25	53	22	7	4	3	152		
30.04.25	292 (3.6)	25	49	26	15	8	2	138		
30.05.29	257 (3.4)	29	42	29	7	4	2	136		
30.06.26	321 (3.5)	24	53	24	13	7	3	159		
30.07.24	447 (3.4)	37	35	28	9	5	2	140		
30.08.22	371 (3.6)	32	42	25	7	4	2	140		
30.09.25	418 (3.6)	31	41	28	12	7	2	120		
30.10.30	324 (3.4)	34	44	22	7	4	2	119		
30.11.21	377 (3.7)	27	47	27	10	6	2	134		
平均・計	328 (3.4)	32	43	24	8	5	2	1562		
前年成績	312 (3.5)	32	40	27	8	4	2	1434		

検定日 乳量 階層	頭数	1 産						2 産 以 上					
		MAX:16.4 DAY:63 MID:15.3 LP:97.5						MAX:23.9 DAY:37 MID:19.4 LP:92.5					
		21日 以下	22日 ~	50日 ~	100日 ~	200日 ~	300日 以上	21日 以下	22日 ~	50日 ~	100日 ~	200日 ~	300日 以上
55以上													
50													
45													
40													
35													
30													
25	1									1			
20	7				2			1	1	1		2	
15	6		1	1							3		1
15未満	12				3	1	3					3	2
頭数 (頭)		1	1	5	1	3	1	1	2	3	5	3	

(図2) 検定成績表の1枚目左下
乳量の低い農家の例真空圧だけでなく、飼料量もあわせてチェックしてください

搾乳管理	
検定種別	A4
時刻	1回目 16:00 ~ 17:00 2回目 08:35 ~ 09:40 3回目 ~
ユニット	4.0 台
1回平均	63 分
1頭平均	19 分
時間	乳量
朝 → 夜	31 % 36 %
夜 → 朝	69 % 64 %
→	% %

(図3) 検定成績表の1枚目右下
以前の成績表と見比べて下さい。1頭に19分も要していましたか？